

## 令和4年度 文化財防災訓練等実施状況報告

都道府県名

長崎県

行事名称	法輪寺消防訓練（文化財防火デー）
実施期間・日時	令和5年1月26日（木）10:00～11:00
実施場所	法輪寺（長崎県壱岐市郷ノ浦町坪触2137番地）
主催者	法輪寺、壱岐市消防本部、壱岐消防署、壱岐市教育委員会

## ■実施内容

## 訓練の想定

10時30分、法輪寺に隣接する庫裏の台所から出火、住職及び総代長の初期消火にもかかわらず本堂へ延焼拡大しつつあると想定。付近まで消防車が接近できないため、約130m離れた場所からポンプ車を中継して放水することを想定。

## 訓練の内容

法輪寺住職及び総代長による火災発見、初期消火（消火器）、通報、消防署が模擬文化財の搬出を実施。消防署、消防団による放水訓練を実施。

## 参加者及び役割分担

法輪寺（2名）：初期消火、通報

壱岐市消防本部（3名）：全体指揮、訓練指導、交通整理、記録、広報

壱岐消防署（11名）：模擬文化財搬出、放水訓練

壱岐市消防団（5名）：放水訓練

壱岐市教育委員会（2名）：現場立会い

## 特に工夫した点

道幅が狭く法輪寺の近くまで消防車が入れないため、付近の漁港に留め置いたポンプ車からタンク車へ補水し、そこから本堂までホースを延長して中継放水訓練を実施した。

## 問題点・課題

貯水槽までやや距離が離れており、緊急時には海水を利用することになる。事前に現地の状況に応じた消火計画を準備しておくことが重要。

## その他

文化財防火訓練を行うことにより、所有者や地域住民に防火への注意を再認識させるとともに、消防署や消防団が文化財が所在することを共通認識する良い機会になっている。

## 訓練風景



模擬文化財搬出状況



放水訓練状況